

## 第14回「大学コンソーシアム岡山」運営委員会 議事要旨

- 日 時：平成20年5月23日（金）14時00分～15時27分
- 場 所：岡山理科大学第21号館1階 会議室
- 出席者：29／36
- 欠席者：岡山学院大学（高田）、川崎医療福祉大学（安藤）、吉備国際大学（村本）、倉敷芸術科学大学（妹尾）、くらしき作陽大学（加藤）、山陽学園大学（名古）、ノートルダム清心女子大学（加藤）、
- 陪席者：倉敷市立短期大学（安藤事務局長）  
中国銀行（中島調査役）、山陽新聞社事業局（本行）、岡山県教育庁生涯学習課（福原総括副参事）、岡山県産業労働部（古川労政・雇用対策課主事）、（社）岡山市観光協会（徳弘、安治）

### ○議 事：

議事に先立ち、木村前年度委員長（岡山理科大学学外連携推進室副室長）から開会挨拶及び各出席者・陪席者等の紹介があった。

続いて、以下の団体等から資料に基づく説明等があった。

- ①おかやま観光コンベンション協会から協会設立の趣旨等の説明と協力要請があり、木村前年度委員長から要請に基づき、理事として本委員会委員長が協会に関与することになった旨報告があった。
  - ②岡山県産業労働部から「岡山産業人材育成プラン」と「岡山県産業人材育成コンソーシアム」の説明並びに各大学への連携要請があった。
  - ③岡山県教育庁生涯学習課から「おかやま学びフェスタ2008」と「おかやま学びの輪」についての説明と協力依頼があった。
- 引き続き、前回議事要旨（案）の確認が行われ、原案どおり承認された。

### ○審議事項

#### 1 平成20年度の運営について

##### （1）委員長、副委員長の選出について

大学コンソーシアム岡山運営委員会規程第4条の規定により、岡山理科大学学外連携推進室副室長の木村教授を委員長に選出し、続いて委員長の指名により経済同友会教育問題委員長の原山陽放送常務取締役を副委員長に選出した。

##### （2）平成20年度企画会議の委員について

委員長から、【資料1-2】に基づき企画会議の委員を選出したい旨提案があり、原案通り承認された。

なお、空欄になっている大学教育事業部のサブリーダーについては、速やかに決めて、次回委員会で改めて報告することとした。

##### （3）各種会議等の運営について

委員長から、次のとおり今年度の運営方針の提示があり承認された。

###### ①運営委員会について

- ・年4回程度開催し、代表者会議に諮る事項等は、予め本委員会の議を経ることを原則とする。

- ・諸事業を遂行するにあたっては、委員長の判断と企画会議の機能を高めることにより、よりスピーディで機能的な実施を図る。  
また、必要に応じてメールによる情報交換を行い、連携を密にすること。
- ・岡山県や経済界を含め、各機関からの情報提供を受ける場として、本委員会の活用を図る。

## ②企画会議について

- ・運営委員委員長を中心に、各事業部活動の活性化と機能アップを図る。そのため、必要な都度会議を開催し、意志の疎通等を図る。
- ・各事業部活動を遂行するにあたっては、出来るだけメール等での意見交換を活発に行い、機能的かつスピーディに実施する。
- ・実施した内容等については、事業部報告として運営委員会で報告する。

## 2 全国大学コンソーシアム協議会への加盟について

委員長から、【資料2】に基づき提案説明があり、審議の結果、全国大学コンソーシアム協議会に加盟することが承認された。

申請にあたって本コンソーシアムのプロフィールを記入し送付することになるが、内容はメール等で各位に連絡・報告することとした。

関連して、委員長から次のような提案があり了承された。

- ・本コンソーシアムが発足して2年を経て、会長校並びに事務局が、岡山大学から岡山理科大学に移ったことなどを踏まえ、現在の大学コンソーシアム岡山について検証する必要がある。
- ・全国的な課題として、文部科学省が本年度予算化したGP（戦略的大学連携推進事業）にも関連して、全国の各コンソーシアムがどう変化するかなど、注視していく必要がある。
- ・必要な調査のための費用等については、補正予算のことも含め対応を検討する。

## ○報告事項

### 1 第5回代表者会議について

委員長から、【資料3】に基づき報告があった。

### 2 各事業部報告

委員長の指名により、各事業部リーダー等から【資料4】に基づき以下のとおり報告があった。

#### <大学教育事業部>

- ・単位互換について、前期受付期間が終了した状況について報告があった。  
また、単位互換について、学生への周知の課題やeラーニングの課題についても検討する必要がある旨報告があった。

#### <社会人教育事業部>

- ・吉備創生カレッジ前期分について  
前期分の受講状況について資料のとおり報告があった。
- ・吉備創生カレッジ後期分について  
スケジュール等について説明があり、6月6日（金）締切への協力要請があった。関連して、受講者のデータ（例えば年齢構成等）などを各大学にメールで送付して、後期講義開設に向けて効率的でかつ有効なも

のにするための参考にすることとした。

- ・吉備創生カレッジの今後について  
見直しについて検討を開始しているので、アイデア等があれば出して欲しい旨依頼があった。

<産学官連携事業部>

- ・コーディネート科目である「キャリア形成講座」、「中銀金融知力講座」について受講状況等の報告があった。続いて、「実践マナー&ビジネスマインド短期集中講座」の開講計画の変更について説明があった。

関連して、コーディネート科目の募集方法・履修方法について検討する必要があるとの発言があった。

- ・学生交流事業（ロゴマーク募集）について、今年度計画について次のとおり説明があり了承された。

①ロゴマーク基本コンセプトなど

岡山、産学官、学生の3つのキーワードで単色のデザインを学生から募る。

②スケジュール・審査等

6月に公募、9月18日締切、10月に発表会等を開催し決定、審査は産学官から選出する。

③詳細については、後日募集要項等を各大学に送付する

○その他

(1) 岡山県からの情報提供等

岡山県企画振興部から、岡山県が実施している「大学コンソーシアム連携等推進事業補助金」及び新見短大生との青空知事室について説明があった。

(2) 本委員会の場合の有効活用策について

大崎社会人教育事業部リーダーから提案があり、この場で各大学のイベント等について資料の相互配布など、委員会の場合の有効活用策について提案があり了承された。

(3) 大学コンソーシアム岡山ホームページについて

委員長より、HP業者の切替等により、場合によって数日間HPが止まる可能性がある旨説明があった。

※次回開催予定は9月頃の予定（追って通知）。

以 上